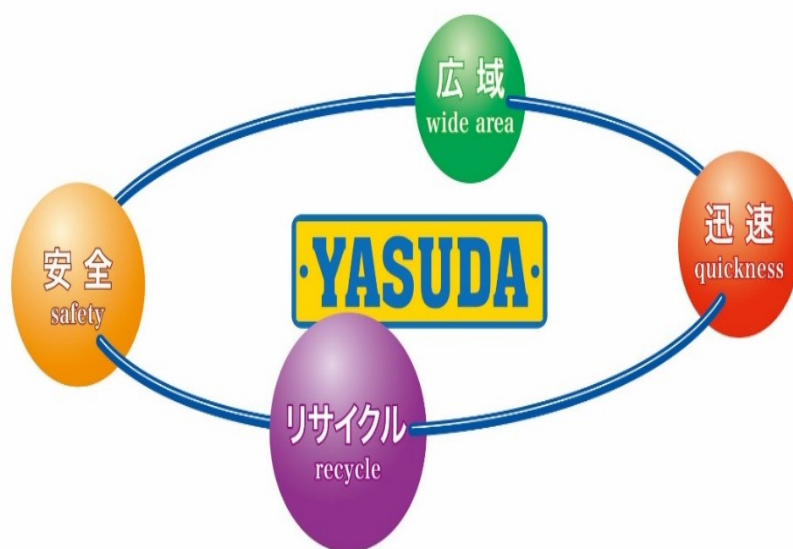


エコアクション 21

環境活動レポート

対象期間: 2023 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日

有限会社 安田



発行日 : 2024 年 4 月 26 日

目次

1. 組織の概要	P.3
2. 対象範囲	P.3
3. 環境実施体制	P.4
4. 許可内容	P.5・6
5. 処理施設の状況	P.6
6. 車両等の台数	P.6
7. 処理方式及び処理工程図	P.7
8. 環境経営方針	P.8
9. 環境経営目標	P.9
10. 環境経営計画	P.10
11.環境経営計画に基づき実施している取り組み	P.11
12. 環境経営目標の実績とその評価	P.12
13. 環境経営計画の実施状況及びその評価	P.13
14. 次年度の環境経営目標	P.14
15. 次年度の環境経営計画	P.15
16. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.16
17. 代表者による全体の評価と見直しの結果	P.17

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

有限会社 安田
取締役社長 安田 実

(2) 所在地

〒230-0034
神奈川県横浜市鶴見区寛政町23-19

(3) 法人設立年月

平成10年 8月13日

(4) 資本金

300万円

(5) 事業活動の内容

産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物中間処理業
金属スクラップ回収業
一般貨物輸送業

(5) 事業の規模

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
売上高 (万円)	19612	19419	19279	18027	18,879
中間処理量 (T)	871.25	683.24	730.17	736.64	1040.45
収集運搬量 (T)	7129.17	6,958.03	5192.53	6117.21	5299.81
従業員数 (人)	9	9	9	9	9
延床面積 (m ²)	298. 9	298. 9	298. 9	298. 9	298. 9

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 名嘉真 梨沙
担当者 名嘉真 梨沙
連絡先 電話 045-505-2327
FAX 045-505-2328
e-mail: yasuda.company@h7.ne.jp

2. 対象範囲

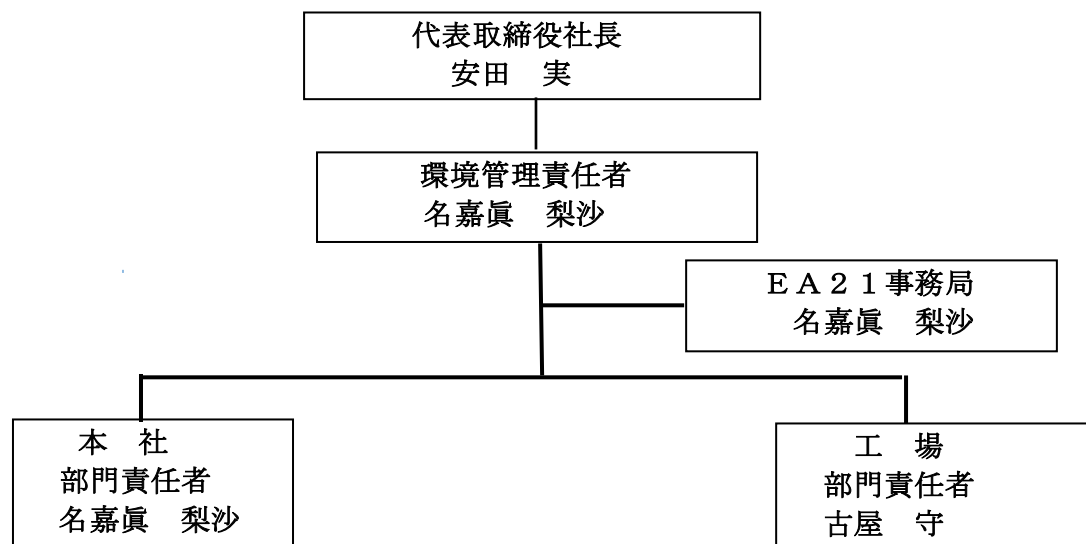
(1) 認証・登録対象組織

本社・工場
神奈川県横浜市鶴見区寛政町23-19

(2) 認証・登録対象活動

産業廃棄物収集運搬業、中間処理業、金属リサイクル業、一般貨物運送業

3. 環境実施体制



役職	責任及び権限
代表取締役 社長	1、経営における課題とチャンスを整理し、明確にする 2、環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する 3、エコアクション21を運用し、維持するために経営資源を用意する 4、定期的エコアクション21に基づく環境経営全体の取り組み状況及び効果を評価し、総括的な見直しを実施し、必要な指示を行う。 5、効果的な実施体制を構築する。 6、実施体制においては、各自の役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する。
環境管理 責任者	1、環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2、社長への環境経営システムの実施状況報告 3、推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4、それぞれの業務、役割に応じ、必要な教育、訓練を適切に計画、実施 5、関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6、環境関連文書及び記録の作成、整理
EA21 事務局	1、環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 2、環境目標、環境活動計画書原案の作成 3、環境活動の実績集計 4、環境関連法規等の取りまとめ表作成、管理、遵守評価の実施 5、環境関連の外部コミュニケーションの窓口 6、環境活動レポートの作成
部門責任者	1、環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善 2、環境上の緊急事態への準備及び対応
全従業員	1、環境方針の理解と、環境への取組みの重要性を自覚 2、決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動への参加

4. 許可の内容

許可一覧及び取扱品目一覧

①産業廃棄物処分業

自治体名	許可番号	許可年月日	許可有効期限	種類
横浜市	第05620058790号	令和元年10月1日	令和6年9月30日	破碎 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、がれき類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず

②産業廃棄物収集運搬業（積み替え保管無し）

産業廃棄物収集運搬業		燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器屑	鉱さい	がれき類	ばいじん
自治体名	許可番号																
	許可年月日																
	有効期限																
神奈川県 申請中	01402058790	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	H31年3月29日																
	H36年2月15日																
東京都 申請中	13-00-058790号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	H31年2月26日																
	H36年2月25日																
千葉県 申請中	0120058790号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	H31年4月9日																
	R6年3月31日																
埼玉県 申請中	01101058790号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	H31年3月22日																
	H36年2月17日																
静岡県	02201058790号	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×
	R5年3月3日																
	R10年3月2日																
山梨県	01900058790号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	H29年10月17日																
	R9年10月16日																
茨城県	00801058790号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×
	H29年3月17日																
	R9年3月16日																

③特別管理産業廃棄物収集運搬業

特別管理産業廃棄物収集運搬業				廃油	廃酸	廃アルカリ	廃石綿等
自治体名	許可番号	許可年月日	有効年月日				
神奈川県	第 01450058790 号	H29/7/5	R9/6/20	○	○	○	○
東京都	第 13-50-058790 号	H29/11/26	R9/11/25	○	○	○	○
山梨県	第 01950058790 号	H29/10/17	R9/10/16	○	○	○	○

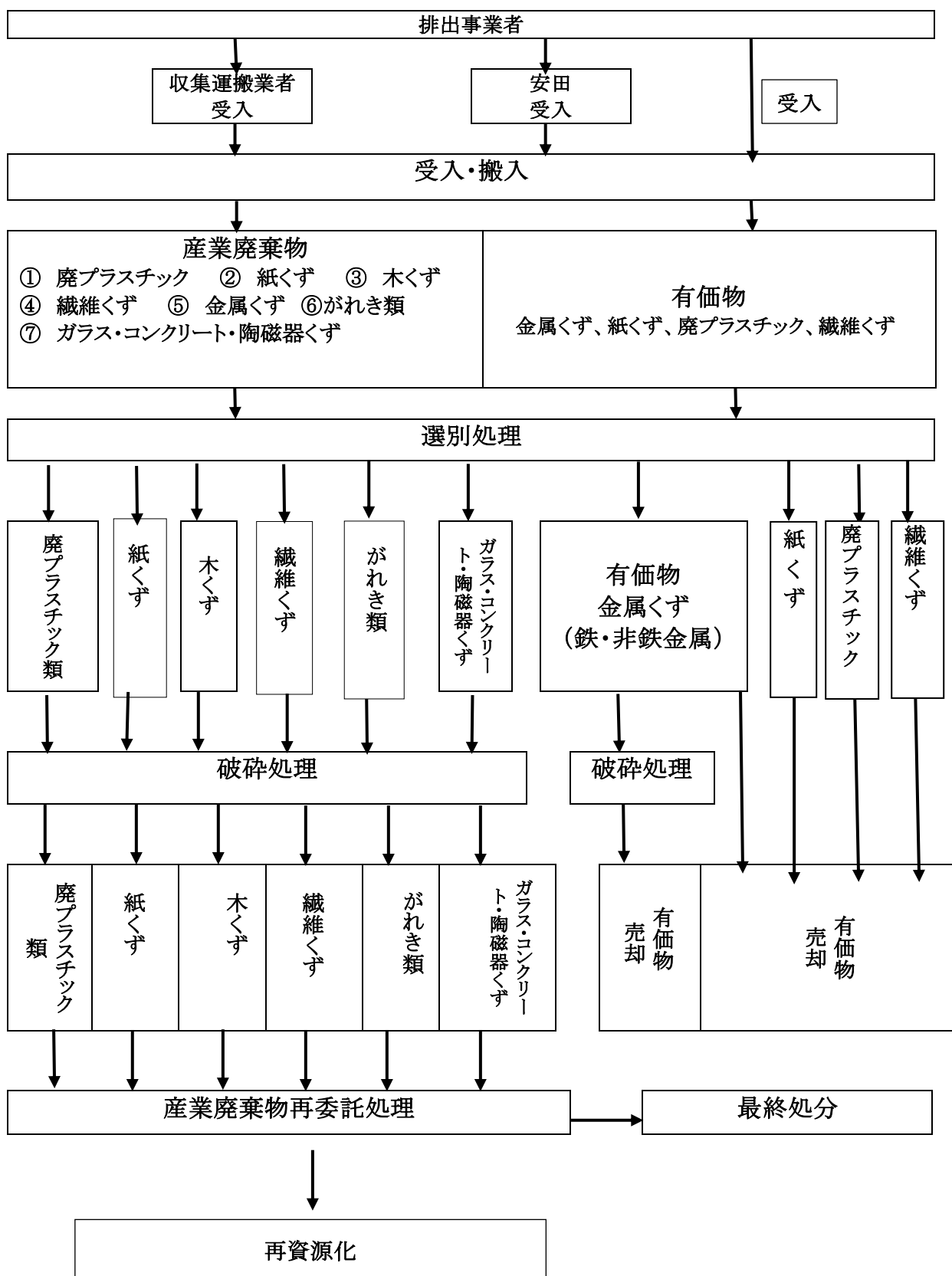
5. 処理施設等の状況

	処理施設	廃棄物の種類	処理能力
工場	破砕機	廃プラスチック類 紙くず、木くず、繊維くず ガラス・コンクリート・陶磁器くず 金属くず、がれき類	4.95t/日

6. 車両等の台数

事業所名	2t パワー ゲート 車	大型 平ボ デー 車	4t アーム ロール 車	大型 アーム ロール 車	増t ワイド 平ボデー 車	増t ユニ ック PG 車	8 m ³ コン テナ	26 m ³ コン テナ	ユ ン ボ 車	営 業 車
	2t	11.8 t	3.5t 3.55t	10.7t	5.2t	6.5t				
台数	1	1	2	1	1	1	32	3	1	2

7. 処理方式及び処理工程図



環境経営方針

【基本理念】

有限会社安田は産業廃棄物を通して、「迅速」に収集エコドライブに心がけながら「安全」に運搬をし、中間処理施設を介し、100%の「リサイクル処理」を目指して、日々環境保全活動に取り組めます。

【行動指針】

1. 当社事業の特性を踏まえて、以下の環境活動に重点的に取り組み、継続的な改善を目指していく事を宣言します。
 - ① 事務所内・工場内電力と収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 水資源の削減
 - ③ 選別強化により廃棄物を削減し、再資源化に努めます
 - ④ 排出事業者様へ総合的にアドバイスし、適正処理を推進します。
 - ⑤ 社員の労働環境・教育環境を整え、安定した高水準のサービス提供を維持します。
2. 環境関連法規制や当社が約束した事を遵守します。
3. この環境方針は全従業員に周知します。

改訂日 2021年4月1日

有限会社安田
取締役社長 安田 実

9. 環境経営目標

環境目標	項目	基準年(実績)	年度目標	中期目標	
		2021年度	2023年度	2024年度	2025年度
		21年4月～22年3月			
1. 二酸化炭素排出量削減	CO2総量 Kg-CO2	121,024	99,474	96,628	96,628
①電力使用量の削減	電力使用量 Kwh	22,933	22,000	20717	20717
	CO2 Kg-CO2	10,870	10,428	9820	9820
②燃料(ガソリン)使用量の削減	ガソリン使用量(L)	4,335	4000	3041	3041
	Kg-CO2	10,058	9280	7056	7056
③燃料(軽油)使用量の削減	軽油使用量(L)	38,772	30892	30892	30892
	CO2 Kg-CO2	100,031	79,701	79,701	79,701
④燃料(ガス)使用量の削減	ガス使用量(m³)	30.00	30	24	24
	CO2 Kg-CO2	65	65	51	51
2. 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量(Kg)	210	140	140	140
3. 水使用量の削減	水使用量(m³)	131	127	127	127
4. 産業廃棄物リサイクル率向上	リサイクル率(%)	83.8	85%以上	85%以上	85%以上
5. 排出事業者様へのアドバイス	問い合わせに対する分別・処理提案(%)	—	100	100	100
6. 教育実施	実施回数(回)	—	12	12	12

※CO2排出係数は0.474Kg-CO2/kWhを使用。

※当社は化学物質は扱っていない。

10. 環境経営計画

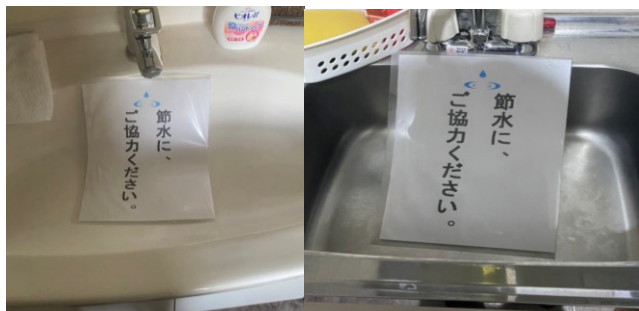
環境目標	環境活動計画施策(取組項目)	責任者 担当者	スケジュール
1、二酸化炭素排出量削減 (1) 電気使用量の削減	・エアコンの温度管理 ・不使用時電源 off の徹底(照明・空調・破砕機・パソコン等)	事務所 名嘉眞 工場 古屋	毎日 毎日
1、二酸化炭素排出量削減 (2) 燃料(ガソリン)使用量の削減	・エコドライブの徹底 ・適正な車両の整備	安田	毎日 毎日
1、二酸化炭素排出量削減 (3) 燃料(軽油)使用量の削減	・エコドライブの徹底 ・適正な車両・重機の整備 (日常点検・3 か月点検・年次点検)	鈴木	毎日 日常点検 毎日 3 ヶ月点検 3 ヶ月毎 年次点検 1 年毎
1、二酸化炭素排出量削減 (4) 燃料(都市ガス)使用量の削減	・節減意識の向上	名嘉眞	毎日
2、廃棄物排出量の削減	・廃棄物の分別の徹底 ・コピー用紙の裏紙使用	名嘉眞	毎日[張り紙] その都度
3、水使用量の削減	・節水意識の喚起 ・節水表示板の設置	名嘉眞	朝礼時 設置済み
4、産業廃棄物リサイクル率の向上	・産業廃棄物の分別の徹底	古屋 宮里	毎日
5、排出事業者様へのアドバイス	・問い合わせに対する分別・処理の提案	名嘉眞	都度
6、教育実施	・運転者指導教育 ・収集運搬について ・廃棄物処理について ・エコドライブ教育	安田	毎月 年 1 回 年 1 回 年 1 回

11.環境経営計画に基づき実施している取り組み

空調効率対策 シーリングファン設置



節水の奨励



感染対策の実施



コピー用紙の裏紙使用



電気不使用箇所の消灯



節電の奨励



12. 環境経営目標の実績とその評価

環境経営目標 環境活動計画	取組結果とその評価(2023 年4月～2024 年3月)			
	環境目標	実績	達成 区分	評価 是正処置
1. CO ₂ 削減	99,474 kg-CO ₂	101,018.38 kg-CO ₂	×	・削減できなかった
① 電力使用量削減 ・エアコンの温度管理 ・消灯の徹底 (照明・空調・破砕機・ハソコン等)	22,000 kWh	24,569 kWh	×	・消し忘れなどは無かったが、稼働時間が長く、増加してしまった。
②燃料(ガソリン)使用量削減 ・車両の点検整備の徹底 ・エコドライブの徹底	4,000 L	797.8 L	○	・営業車が 1 台分、軽油に切り替わったため削減となった。
③燃料(軽油)使用量削減 ・車両の点検整備の徹底 ・エコドライブの徹底	30,892 L	34,072.5 L	×	・営業車が 1 台分、軽油に切り替わったため増加となったが、毎月の車両の稼働も例年よりも多かった。
④燃料(ガス)使用量削減 ・節約意識の向上	30 m ³	15 m ³	○	・4 月、12 月の泊り残業で増えていたが、普段は削減出来ていた。
2. 廃棄物排出量削減 ・廃棄物分別の徹底 ・コピー用紙の裏紙使用	140 kg	140 kg	○	・裏紙使用等、よく取り組めた。
3. 水使用量削減 ・節水意識の喚起 ・節水表示板の設置	127 m ³	120 m ³	○	・無駄使いしないよう意識して節水に取り組めた。
4. 産業廃棄物リサイクル率向上 ・廃棄物分別の徹底	85%以上	89.13 %	○	・分別もしっかりできていた。
5. 排出事業者様へのアドバイス 回答数/問い合わせ数	100 %	100 %	○	・特殊な化学物質の廃棄相談など難しい案件が多かったが、SDS などから調べて全ての案件に最後までご案内できた。
6. 教育実施	12 回	12 回	○	・毎月の教育に取り組んだ。

○:目標達成、×:目標未達

13. 環境経営計画の実施状況及びその評価

環境目標	環境活動計画施策 (取組項目)	実施状況				評価 (効果があったか)
		①	②	③	④	
1、二酸化炭素排出量削減 (1) 電気使用量の削減	・エアコンの温度管理 ・不使用時電源 off の徹底(照明・空調・破砕機・パソコン等)	△	△	△	○	取り組み効果はあったが、破砕機稼働が多く削減には至らなかった。
1、二酸化炭素排出量削減 (2) 燃料(ガソリン)使用量の削減	・エコドライブの徹底 ・適正な車両の整備	○	○	○	○	営業車が1台分、軽油に切り替わったが、エコドライブには取り組めていた。
1、二酸化炭素排出量削減 (3) 燃料(軽油)使用量の削減	・エコドライブの徹底 ・適正な車両・重機の整備	○	△	△	○	営業車が1台分、軽油に切り替わったことと。夜間等、稼働時間が長かったため使用料が増加となった。
1、二酸化炭素排出量削減 (4) 燃料(都市ガス)使用量の削減	・節減意識の向上	○	◎	○	◎	4月、12月の残業による風呂場使用で使用料増加となった。
2、廃棄物排出量の削減	・廃棄物の分別の徹底 ・コピー用紙の裏紙使用	○	○	○	○	削減に取り組めた。効果はあった。
3、水使用量の削減	・節水意識の喚起 ・節水表示板の設置	◎	◎	○	○	無駄遣いの無いよう取り組めた。効果はあった。
4、産業廃棄物リサイクル率の向上	・産業廃棄物の分別の徹底	○	○	○	○	よく分別して取り組めた。
5、排出事業者様へのアドバイス	・問い合わせに対する分別・処理の提案	◎	◎	◎	◎	・特殊な案件にも対応できた。
6、教育実施	・運転者指導教育 ・収集運搬について ・廃棄物処理について ・エコドライブ教育	◎	◎	◎	◎	・毎月の教育に取り組んだ。

実施状況 ◎:大変よくできた ○:よくできた △:少しはできた ×:できなかった

実施状況の確認期間 ①4月～6月 ②7月～9月 ③10月～12月 ④1月～3月

14. 次年度の環境経営目標(2024 年 4 月～2025 年 3 月)

環境目標	項目	基準年(実績)	年度目標	中期目標	
		2021年度	2024年度	2025年度	2026年度
		4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月
1. 二酸化炭素排出量削減	CO2総量 Kg-CO2	121,024	96,628	96,628	96,628
①電力使用量の削減	電力使用量 Kwh	22,933	20,717	20,717	20,717
	CO2 Kg-CO2	10,870	9,820	9,820	9,820
②燃料(ガソリン)使用量の削減	ガソリン使用量(L)	4,335	3,041	3,041	3,041
	Kg-CO2	10,058	7,056	7,056	7,056
③燃料(軽油)使用量の削減	軽油使用量(L)	38,772	30,892	30,892	30,892
	CO2 Kg-CO2	100,031	79,701	79,701	79,701
④燃料(ガス)使用量の削減	ガス使用量(m ³)	30.00	24	24	24
	CO2 Kg-CO2	65	51	51	51
2. 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量(Kg)	210	140	140	140
3. 水使用量の削減	水使用量(m ³)	131	127	127	127
4. 産業廃棄物リサイクル率向上	リサイクル率(%)	83.8	85%以上	85%以上	85%以上
5. 排出事業者様へのアドバイス	問い合わせに対する分別・処理提案(%)	—	100	100	100
6. 教育実施	実施回数(回)	12	12	12	12

※CO2排出係数は0.474Kg-CO2/kWhを使用。

※当社は化学物質は扱っていない。

15. 次年度の環境経営計画

環境目標	環境活動計画施策(取組項目)	責任者 担当者	スケジュール
1、二酸化炭素排出量削減 (1)電気使用量の削減	・エアコンの温度管理 ・不使用時電源 off の徹底(照明・空調・破砕機・パソコン等)	事務所 名嘉眞 工場 古屋	毎日 毎日
1、二酸化炭素排出量削減 (2)燃料(ガソリン)使用量の削減	・エコドライブの徹底 ・適正な車両の整備	安田	毎日 毎日
1、二酸化炭素排出量削減 (3)燃料(軽油)使用量の削減	・エコドライブの徹底 ・適正な車両・重機の整備 (日常点検・3 か月点検・年次点検)	鈴木	毎日 日常点検 毎日 3 ヶ月点検 3 ヶ月毎 年次点検 1 年毎
1、二酸化炭素排出量削減 (4)燃料(都市ガス)使用量の削減	・節減意識の向上	名嘉眞	毎日
2、廃棄物排出量の削減	・廃棄物の分別の徹底 ・コピー用紙の裏紙使用	名嘉眞	毎日[張り紙] その都度
3、水使用量の削減	・節水意識の喚起 ・節水表示板の設置	名嘉眞	朝礼時 設置済み
4、産業廃棄物リサイクル率の向上	・産業廃棄物の分別の徹底	古屋 宮里	毎日
5、排出事業者様へのアドバイス	・問い合わせに対する分別・処理の提案	名嘉眞	都度
6、教育実施	・運転者指導教育 ・収集運搬について ・廃棄物処理について ・エコドライブ教育	安田	毎月 年 1 回 年 1 回 年 1 回

16. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	主な適用される事項(施設、物質、事業活動等)	確認	確認日
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理 (特管)産業廃棄物の収集運搬業または処分業の許可を管轄する知事等から受けること。 産業廃棄物処理施設の設置または規模の変更に当たっては知事等の許可を受けること。 収集運搬、処分事業者は事業者と産業廃棄物処理委託基準及び特別管理産業廃棄物委託基準に従って二者間委託契約を締結する	○	4月1日
自動車 NOX・PM 法	使用車両の窒素酸化物排出基準、粒子状物質は排出基準に適合車の使用	○	4月1日
オフロード法	バックホウ等のオフロード車の適合車使用	○	4月1日
騒音規制法	騒音の規制基準の遵守	○	4月1日
振動規制法	振動の規制基準の遵守	○	4月1日
自動車リサイクル法	使用済み自動車をリサイクル法に基づき適正処理	○	4月1日
フロン排出抑制法	エアコンの点検、管理(簡易点検)	○	4月1日
消防法	指定可燃物の貯蔵、取り扱いの届け出	○	4月1日
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	指定事業所における公害・悪臭・水質汚濁・騒音・振動の防止、規制基準・測定記録保存、環境への負荷の低減、温室効果ガス排出の抑制、環境の保全に係る組織体制の確立	○	4月1日

※－ 取組期間中非該当

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反及び訴訟はありませんでした。また、関係当局よりの違反等の指摘は創業以来ありません。

17. 代表者による全体評価と見直しの結果

①個別目標の評価

1、二酸化炭素削減

なかなか人員不足から抜け出せず、どうしても残業等してこなさなければ間に合わないような状況で全体的には削減に繋がったのは良かった。電気については、皆意識して消灯等しているのが見受けられるが、破碎機を多く使うとそれだけでだいぶ増加となる点が難しい。ビニールシートのようなものは破碎機にかけても縦に裂けて長くのびてしまいなかなか細かくならないため、同じものを二度も三度も繰り返し破碎機にかけなければならず、そういったものの受け入れが多いと、電力使用も上がっているように思う。ただ、それでも、できる範囲で人力で小さくしてから破碎機にかけるなど、現場は工夫して取り組んでいるので、そういった負担を減らすためにも人員の募集努力を続けたいと思う。

2、一般廃棄物排出量削減

引き続き削減への取り組みが表れていると思う。保管期間が過ぎた書類なども、そのまま廃棄せずに、初めて印刷するものの試し刷りに使ったりしており、意識が根付いている。

3、水使用量削減

確かに雑巾は溜め水で濯ぐなど工夫もしていたが、正直なところ、人員不足でそれどころではなく掃除に手をかけられなかったことから水使用量が減ったのではないだろうか。ゴミを引き取ってキレイにする仕事であるのに、自分の身の回りの掃除もままならないのはいただけない。とは言え、実務を優先すべきなのはもちろんなので、やはりここでも人員確保の必要性を痛感した。

4、産業廃棄物リサイクル率の向上

毎年思う事だが、その年によって排出されるものの傾向があるように感じる。昨年はがれき類、その前はスクラップ関係やボードなど、その年に示し合わせたかのように何故か例年より多く集まってくるものがあつたりする。そして、それでいうところの今年度は廃プラスチック類と汚泥の年だった。そもそもプラスチック類はもとより多く排出される部類ではあるけれども、今までめったになかったタイプものを立て続けに依頼されたり、普段よりも大量に入ってきたり、汚泥に関しても当社は破碎の許可しかないため普段あまり汚泥の廃棄について相談を受けることは少ないが、今年度は度々問い合わせがあり処理場を紹介することがあった。そういったその年の傾向に左右されてリサイクル率も変わってくるのは仕方がない、と思っていた。しかし、従業員たちは、そんなことは関係なく日々の分別など出来ることをしっかりとやり、向上を目指していて、それこそが一番評価すべき点だと感じた。今回、目標を達成できたことは排出傾向のおかげもあるかもしれないが、まぎれもなく適正処理を進めた努力の結果である。

5、排出事業者様へアドバイス

前述の通り、専門外の品目に関しても相談してもらえることを誇りに思う。今後も継続して誠実な受け答えができるようにしていきたい。

6、教育実施

教育時に限らず重要な事は何度も伝えるので、今いるメンバーは皆、重々わかっていると思うが、どんなにわかっている疲労が強ければミスが起こってしまうものだろう。もちろん、労働基準を超えるような働き方にならないようにはしているが、それでも仕事の密度が濃ければ疲れも増すはずだ。分担して効率的に仕事ができるよう、人員を増やして「新人教育」に努めるべきだろう。

②全体の評価

皆よく取り組んでおり、目標達成できた部分も多かった。環境活動自体はよく出来ていたと思う。出来ていなかったのは人員確保だ。次年度には安定した人員で、取り組みにもっと集中できる環境を整えたい。

② 見直し及び変更の指示

電力について、年々依頼も増えていくにあたり、まずは今年度を基準にした場合の達成可能な範囲で変更する。ガソリン・軽油についても車両が1台ガソリン車から軽油車に変わったことから見直すこととする。そのほかの方針・計画・実施体制の変更はない。